

改元記念 清流の国ぎふ

# 夏の地歌舞伎公演 2019

令和元年 七月十四日(日)

◆ 開演 11時30分 (開場 11時00分)

◆ 会場 ぎふ清流文化プラザ 2F 長良川ホール

◆ 入場無料 全席自由

6月14日(金)より入場整理券配布開始

◆ 上演外題・出演

幕開けの口上

かがみ やまこきょうのにしき え

鏡山旧錦絵

いび祭子ども歌舞伎保存会(揖斐川町)

仮名手本忠臣蔵 三段目 足利館殿中松の間

常盤座歌舞伎保存会(中津川市)

伊勢音頭恋寝刃

気良歌舞伎保存会(郡上市)

終演 16時00分(予定) 演目・上演順は変更となる場合がございます。

当日はいび祭子ども歌舞伎保存会による歌舞伎メイク体験があります。併せて出演団体地元市町による観光・特産品PRを行います。



気良歌舞伎保存会(郡上市)



常盤座歌舞伎保存会(中津川市)



いび祭子ども歌舞伎保存会(揖斐川町)



令和元年度 文化庁  
文化芸術創造拠点形成事業



主催/岐阜県・(公財)岐阜県教育文化財団

# 夏の地歌舞伎公演 2019



いび祭子ども歌舞伎保存会

## いび祭子ども歌舞伎保存会

(揖斐川町)

揖斐川町は「自然健康のまちいびがわ」を目指しており文化活動が盛んな地です。そのなかでも三百余年の伝統を誇る歴史ある「いび祭り」三輪神社例大祭は、豪華爛漫な五輦の芸軸(県有形民俗文化財)と多くの神輿が繰り出され、毎年五月四日・五日に華やかに行われます。この五輦の芸軸は、三輪地区にある五つの町(上町、中町、下町、上新町、下新町)がそれぞれ保有しているもので、毎年交代でその芸軸上で子ども歌舞伎が奉納(上演)されます。さらに五月三日には、祭りに先がけて「子ども歌舞伎特別披露」が町ホールのステージで行われています。

当保存会は、平成十九年度全国子供歌舞伎フェスティバルin小松で演じたことを契機として、伝統をつないでいくことを目標に五つの町の枠を超えた活動を行っています。

近年は、いび祭子ども歌舞伎藝を立ち上げ、義太夫の地元後継者育成活動を継続的に行うとともに、地域行事やイベントに出演するなど伝統芸能の保存・継承にも励んでおり、昨年にはこれまでの活動が評価され「平成三十年度岐阜県芸術文化奨励」を受賞しました。

## 常盤座歌舞伎保存会

(中津川市)

中津川市の旧恵那郡福岡町は、地歌舞伎が大変盛んな地で、明治二十四年六月に当保存会の拠点でもある常盤座の小屋開きが行われました。

常盤座は、明治期の劇場形式を残す木造の芝居小屋です。芝居とともに演劇や映画が上映されるなど地域の重要な文化交流の場として親しまれており、平成八年の大改修では、半世紀ぶりに回り舞台などが整備されました。この常盤座で行われる地歌舞伎公演は、小屋開き当時そのままの熱気に満ち溢れています。

また、現在、伝統文化の継承と子どもたちの健全育成を図るため、当保存会主催の子ども歌舞伎教室を常盤座で開催しており、毎年三月の最終日曜日に行われる定期公演にあわせて、子ども歌舞伎教室発表会も開催しています。

昔はこの地域に四つあった歌舞伎小屋も、今は常盤座一つとなりましたが、この常盤座を未永く残していくために多くの歌舞伎ファンの獲得に努めています。



常盤座歌舞伎保存会

## 気良歌舞伎保存会(郡上市)

平安時代末期・宇治川の先陣争いで活躍した名馬「磨墨(するすみ)」の生誕の地と伝えられている郡上市明宝気良では、戦前より地歌舞伎が行われていましたが、役者やスタッフの不足などにより昭和六十三年を最後に途絶えてしまいました。

しかし、平成十七年、当時二十代の若者達が中心となって「地域の人達に笑顔になって欲しい」との思いから地歌舞伎を復活させました。

当保存会は、現在、二十代から四十代の約三十名で構成され、毎年九月第三土曜日の気良白山神社祭礼にあわせ、明宝コミュニティセンターにて公演を行っています。この公演では、地元の小中学生の出演、親子での共演などの機会も設けており、「演じる側も、観る側も、一緒に楽しむ」という地歌舞伎の醍醐味を子どもたちに感じてもらいながら、役者自身も年二回の公演を楽しみにしています。

また、平成十八年からは、郡上市文化財の明宝歴史民俗資料館(旧明方小学校)の木造講堂に仮設舞台を設置して、稽古に利用するとともに、来館者向けに地歌舞伎関連の展示等を行っています。今後は、「歌舞伎」を通じた地域資源の活用、地域の活性化にも取り組んでいきます。



気良歌舞伎保存会

### 6月14日(金)より入場整理券配布開始

入場整理券をお持ちの方から優先して入場いただけます。

配布時間 9:00~21:00 整理券配布場所/ぎふ清流文化プラザ1F サービスカウンター

※お一人様につき4枚までの配布となります。

封書での申し込みも受け付けておりますので、詳しくはお問い合わせください。

岐阜県では、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を本県魅力発信の絶好の機会ととらえ、毎年複数の地歌舞伎保存団体がこのぎふ清流文化プラザで公演する「地歌舞伎推進プログラム」を展開しています。本公演は、地歌舞伎推進プログラムの一つとして、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が推進する文化プログラム「東京2020参画プログラム」と国(内閣官房)が推進する「beyond2020プログラム」双方の認証を受け開催します。今後とも継続的に地歌舞伎公演を開催するとともに、2020年には、県下のほぼ全ての地歌舞伎保存団体による演目を順次披露していく予定です。



TOKYO 2020 応援プログラム

**ぎふ清流文化プラザ**  
ともに、つくる、つたえる、かなえる

【お問い合わせ】  
公益財団法人 岐阜県教育文化財団  
プラザ事業課

〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ 1階  
TEL.058-233-8164 (受付時間: 平日9:00~17:00)  
FAX.058-233-5811  
http://www.seiryu-plaza.jp/

### ■公共交通機関のご案内[岐阜バス]

JR岐阜駅10番のりば または名鉄岐阜(バスターミナル)Cのりば  
[三田線]市民会館/長良川国際会議場方面行き  
「K49 城田寺田地」「K50 長良八代公園」「K55 栗野西5丁目」にて約20分  
バス停「メモリアル正門前」下車 徒歩1分。

### ■駐車場について

・ぎふ清流文化プラザ駐車場(136台)  
駐車料金/3時間まで100円 それ以降30分ごとに100円  
(上限1,000円。但し夜間の留め置きはできません。)  
・駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
・障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

